

2021年8月通常会議 2020年度企業局会計決算に対する討論

2021年10月8日

杉浦 智子

私は日本共産党大津市議員団を代表して、ただいま議題となっています

議案第119号 令和2年度大津市水道事業会計の決算の認定について

議案第120号 令和2年度大津市下水道事業会計の決算の認定について

議案第121号 令和2年度大津市ガス事業会計の決算の認定について

の賛成討論を行います。

議案第119号、議案第120号、議案第121号について、関係することから一括して討論を行います。

上下水道、ガス事業は、いずれも市民生活を営む上で欠かせないライフラインであることは言うまでもありません。コロナ禍において、これら事業を市が担っていることの重要性を実感しています。厳しい状況が続く市民生活や市内事業者などの経営の実態に応じて、とりわけ料金収納については、これまで以上に丁寧で寄り添った対応を求めます。

地下水の使用で下水道料金を不正に免れるという事案については、調査により事業者への徹底を行うと同時に、毅然とした姿勢での徴収に鋭意努力をいただきたいと思います。

また各事業においては、施設や設備の維持更新の時期が到来しており、新設よりも自然災害の多発に備えての耐震化や基盤強化なども求められています。先日は和歌山市で水道橋崩落事故が発生し、維持管理業務の大切さが明らかになりました。本市からも職員を派遣されていますので、現場で学んだことを本市の教訓として生かされることを期待します。

先に述べました事業の重要性からも、事業の実施に必要な費用を確保するためには、市の一般会計からルールに則った適正な繰り入れが行われなくてはなりません。

一昨年からガス事業に、官民連携のコンセッション方式が導入され、他の事業推進にあたっては、近年、民間事業者への依存度が高まっています。その一方で、職員の削減や退職不補充など職員の技術継承が危ぶまれる事態となっています。民間事業者に仕事を担ってもらうのであれば、市としてのモニタリングなどチェック体制の強化が必要であり、そのための職員の専門性や技術力を高めていくことが求められます。

今後ますます安全な事業運営、衛生管理などの面で、市民のニーズが高まることが予想されます。以上、指摘しました諸点について、さらに取り組みを強化されることを求め、本決算の認定に賛成します。